



新島北海道森林管理局長

地域のための 国有林となるために



各地区の代表世話人の皆様と熱心な意見交換が行われました。

令和元年12月5日、北海道森林管理局において、令和元年度国有林野等所在市町村長有志連絡協議会を開催しました。

この連絡協議会は、道内の国有林が所在する市町村と森林管理局との連携強化を図ることを目的として毎年度開催しております。

9月を皮切りに道内7カ所において各地区で協議会を開催し、今回は、各地区の代表世話人である川上平取町長、池部南富良野町長、佐々木天塩町長、菅原浜頓別町長、長屋滝上町長、高橋本別町長、山本共和町長にご出席いただいたほか、林野庁本庁より宇野業務課長及び佐伯山地災害対策室長が出席しました。

冒頭、新島局長より、「新しい森林管理システムや森林環境譲与税が始まり民有林が大きく動くとしている時に、北海道森林管理局は地域にと

ってなくてはならない組織になり、民有林と一緒に盛りに上げていきたい。本日は忌憚のないご意見をいただきたい。」と開会の挨拶をしました。



林野庁
宇野業務課長

また、林野庁の宇野業務課長より、「地域に役立つ施策をつくりたい、そのためにいろいろなご意見をいただきたい。」と挨拶がありました。



代表世話人の
川上平取町長

その後、連絡協議会の代表世話人である川上平取町長に議事の進行をお

願いし、議事に入りました。

議事では、まず林野庁から今年度が始期となる国有林の管理経営計画に関する基本計画、今年4月に施行される樹木採取権制度、森林経営管理制度と森林環境譲与税、令和2年度予算概算要求の概要、シ力による森林被害対策、地方創生整備推進交付金等について説明があり、続いて森林保険センターから森林保険制度について、最後に北海道森林管理局から多様な森づくりや、森林整備の省力化などについて説明しました。

次に、各地区の代表森林管理署長から各地区で開催された有志協議会の概要について報告を行いました。

その後、樹木採取権制度やコナテナ苗の価格、地震災害に対応した保険制度等について意見交換

を行いました。
最後に、新島局長から「地域の課題を国有林が率先して解決し、いろいろな意見を聞きながら皆様と協力して地域を良くしていきたい。」と挨拶し、今年度の連絡協議会は終了しました。



左から、山本共和町長、池部南富良野町長、佐々木天塩町長、菅原浜頓別町長、長屋滝上町長、高橋本別町長